## 玩具コレクション

【所 在 地】鹿児島市城山町7-2 県歴史資料センター黎明館

【種別】県指定有形文化財(工芸品)

【指定年月日】昭和29年5月24日



鹿児島市の故川邉正巳氏によって,昭和初期から昭和20年代までに収集されたもので,日本各地の郷土玩具はもとより,中国の旧満州地方,台湾など東南アジアを中心とする海外からも収集された玩具コレクションである。その数は約5000点にのぼり,いまでは廃絶して入手不可能となった玩具も多数含まれる。さらに玩具に関する書籍や版画,中国の新年を祝う年画等も充実し,貴重なコレクションとなっている。

郷土玩具はその土地の風俗や慣習,伝説等をもとに,またはその土地にある材料を生かして作られたもので,子供や家畜の無病息災を願ったもの,豊作や大漁を祈願したもの,子供たちの日々の遊びに用いられるものなどさまざまである。

国内の玩具としては土人形,張り子,こけし,土鈴,達磨など,アジアのものとしては 旧満州地方の搬不倒とよばれる起き上がり玩具や泥娃娃とよばれる土人形,各地の影絵人 形などを中心に収集されている。

鹿児島県内のものは,鯛車,化粧箱,初鼓,土鈴などの鹿児島神宮の諸玩具,帖佐や垂水,東郷,宮之城などの土人形,金助まり,糸雛,坊津のカラカラ船など約450点が集められている。